令和８年度

保育実施及び保育環境の充実に関する要望書

令和８年１０月２８日（水）

苫小牧市法人保育園協議会

令和8年10月28日

苫小牧市長　金　澤　　俊　様

苫小牧市法人保育園協議会

会　長　　遠　藤　　明　代

保育の実施及び保育環境の充実に関する要望書

法人保育園協議会として約１５年間に渡り要望してまいりました「５歳児健康診査」が来年度より実施されるということで、市長の公約実現と国の本格的な
整備計画と相まって実現ができる運びになったことは、苫小牧市法人保育園協議会としては大変喜ばしいことと受け止め、その実現に向けて準備をして頂いた苫小牧市長並びに担当課の尽力に感謝申し上げます。

新たな乳幼児の検診制度が実現に向けて実施される運びは喜ばしいことでありますが、ここ数年の出生人口の減少が益々深刻化していて、市内の乳幼児を受け入れている施設の運営が困難になり、このままでは、統廃合や利用定員の見直し、健全運営のため園の縮小を考える法人や今後の安定的な運営を考えて認定こども園化へと移行する法人が多くなる傾向は今後も加速するのではと予想されます。

その際には、各法人の運営状況へ理解を頂き様々な変更や移行に対応して頂けますように、特段のご配慮をお願いする次第です。

今後も子育てしやすい住みやすい環境を整えることは、人口減少を食い止める施策として必要不可欠でありますが、現在の人口減少に即対応は不可能であっても現状保育施設が真に充実した質の高い保育環境を提供できる苫小牧市独自の子育てサポートに積極的な取り組みをお願いし、子どもたちがどこの施設に入所していても安心して保育や教育が受けられるように苫小牧市法人保育園協議会として、要望致しますので、ご検討のほど宜しくお願い申し上げます。

１．苫小牧市「こどもど真ん中政策」の具体的アプローチをお示しください。

苫小牧市長に於かれましては施策の中心に「こどもど真ん中」を大きな目標に据えられていて本協議会は、今後の展開に大変期待をしているところであります。

つきましては、この少子化が進む苫小牧市において０歳児から５歳児までの育ちの環境を今後どのようなビジョンを持って少子化対策及び具体的な施策をお考えか、特に下記の項目についてお示し頂きたいと思います。

○　苫小牧市として少子化対策の具体的な施策をお伺いします。

○　若い世代が結婚をして子どもを産み育てられる環境を苫小牧市で具体的に実行していくのかを市長のお考えをお示しください。

２．副食費無償化を継続して下さい。

今年度も副食費が１１月まで無償化となり、１２月から値上がりする予定になっている副食費ですが、物価高騰を受けてから家計が苦しい状況下にありますので、是非１２月からも無償化を継続して頂けるようお願いいたします。

３．低年齢児童入所減少による保育園運営維持の為の補助をお願いします。

各園０歳児から２歳児獲得のために保育士をその時に備えて待機雇用している施設が多くあり人件費がひっ迫している施設が多くみられます。

園児確保が半年経過しても満度にならない状況がありますので、運営費が不足して人件費が確保できない施設もあるため運営難に瀕している施設については、一定期間の運営費補助金を充当して下さるようお願いいたします。

４．障害児保育加配費用を市独自の人件費加算を上乗せ補助のお願い

保育園では、早朝７時から延長保育午後７時までの保育を実施していますが、発達支援の必要なお子さんも多くなり、保護者の方も就労時間も長く、お預かり時間が長くなり、人手が少ない時間の見守りが大変になってきています。そのため、支援児に対しては診断名や判定があった場合に人的加配加算の補助金を約４時間分予算として補助されていますが、保育時間は年々長くなる児童も多く、各園独自に必要時間数分（最低４時間）を拠出して発達支援が必要な子どもたちの発達や安全を見守り保育をしています。

どうか、発達支援の継続を長時間保育の中でも十分に育ちを保障できるように、加配の補助増額をお願いいたします。

また、苫小牧市へ加配申請の手続きの件ですが、保護者の同意書を受けて医療機関での診断書及び判定機関での判定意見書等を苫小牧市に提出して加配申請をしていますが、近年は、おおぞら園で受入れ枠の超過が理由で、児童がやむなく、児童デイを利用する傾向が見られます。

各園では、園独自に個別支援計画を作成し、支援を開始している園も多くみ

られます。しかし、児童デイのみの利用者は受給者証だけでは加配申請出来ません。同じく受給者証を活用している児童への人的加配に対し、専門機関（おおぞら園）通所施設（児童デイ）の児童も支援が必要になっていますので、加配の手続きが出来ますように、お願い申し上げます。

５．５歳児健康診査の実施についての感謝と今後の要望事項

長年にわたり、法人保育園協議会で要望してまいりました５歳児健康診査が苫小牧市長の公約により、また国の動向も相まって来年度よりスタートが切れることになったことは、本協議会としても喜ばしい情報であり、今後も開始まで担当課に於かれましては、ご苦労も多いかと思いますが、充実した５歳児健康診査が実施されるように宜しくお願い申し上げます。

実施にあたっては、２段階方式での実施との説明がありましたが、受診する児童に対しては、既に通園している施設（保育園、認定こども園、幼稚園等）から、最終の事後カンファレンス時に施設側が希望すれば、参加の機会が設けられるとのことでしたが、下記の図に示しました段階での参加を実施して頂けたらと思います。

《苫小牧市2段階方式説明図》

